

## ▶ 地域卸売業の活性化

提案者 ▶ 協同組合横浜マーチャンダイジングセンター

研究者 ▶ 国際総合科学部 経営科学系 教授 鴨志田晃 准教授 赤羽淳 准教授 吉永崇史

### 地域課題

平成28年度に創立40周年を迎える協同組合横浜マーチャンダイジングセンターは、金沢区臨海部に位置する卸売業の異業種組合である。今後、地域卸売業として存続し、さらなる発展を図るためには人材力の強化が喫緊の課題となっている。そこで、同組合はヒューマンリソースセンターの設立構想を推進し、本学との協働により、構想具体化に取り組む。

### 課題解決の方法

同組合の会員企業72社のうち、相当程度の企業が後継者や従業員の育成、多様な人材の採用促進等、人材力の強化を望んでいる。そこで本学との協働でこれからの卸売業を担い得る人材を育成し、多様な外部の専門人材ネットワークや採用支援機能を併せ持つセンター構想の具体化に取り組む。この際、本学が有する専門的知見や教員の外部ネットワークを最大限活用することで、卸売業の将来ビジョンとセンター構想の具体策を練る。また、サービス科学の手法であるビジョン主導型のサービス設計を当該センター構想の具体化に適用する。必要に応じて、関連調査やアンケート調査なども随時行う。

### 実施内容

平成28年5月～平成29年3月 COC事業推進委員会の開催  
平成28年7月 トップセミナーの開催  
平成28年10月 MDCヒューマンリソースセンター構想のための事例調査の実施  
平成28年10月 米国卸売小売業関連調査の実施  
平成28年11月 中小企業人材育成及び地域活性化事業に関するヒアリング、及び意見交換の実施（広島）  
平成29年3月 日経ビジネスイノベーションフォーラム参加（仙台）

### 成果・効果

本事業では、MDCにて設置を検討しているヒューマンリソースセンター（HRC）の機能設計と運用開始に向けた構想具体化に取り組んだ。この際、組合会員企業に加え、本学、横浜市経済局、IDECなどが参加する委員会を設置し、多様な観点からの検討を進めた。平成28年度はHRCの具体化に向けて、事業計画や外部機関との連携を進め、横浜市シルバー人材センターと協働に向けた契約締結の合意を実現した。平成29年4月のHRCの設置に向け、大きく前進したと総括される。

### 今後の課題と展開

平成29年4月にHRCを設置し、平成29年度中にHRCが提供するサービスコンテンツの再編を行う。中小企業のニーズにマッチし、かつ、流通卸売業の活性化に資するコンテンツの開発を進める。

平成29年度は平成28年度の検討を踏まえ、HRCの円滑な立ち上げを行う。この際、MDCの事業運営の体制や事業計画を確立し、必要に応じて外部機関との協力を更に強化する。